No.141
2016 4

學院だより

<東京家政学院大学>

東京家政学院大学･大学院　入学式

<東京家政学院中学校･高等学校>

中学1年合唱祭「COSMOS」

<筑波学院大学>

みずほ村市場エコバッグ　ロゴデザインの記者会見

目　次

○ 東京家政学院大学 …… 1～4 P
○ 入試日程 …… 5 P
○ 筑波学院大学 …… 6～10 P
○ 東京家政学院中学校･高等学校 ‥ 11～12 P
○ 学校法人東京家政学院 …… 13～14 P
○ 社会のなかで、研究室紹介 …… 15 P

発行　学校法人　東京家政学院
〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
Tel. 03-3262-2251(代表)　Fax. 03-3262-2174
URL　http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/

東京家政学院大学
TOKYO KASEIGAKUIN UNIVERSITY

町田キャンパス
〒194-0292 東京都町田市相原町2600番地
TEL.042-782-9811（代表）

千代田三番町キャンパス
〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
TEL.03-3262-2257（代表）

URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/

「無言社会」に抗し、言葉を発する

学長　廣江　彰

本学に赴任する前、他女子大の3年ゼミで一回だけお話しする機会がありました。私が設定したテーマは「自分を『強く』するための簡単なひとつの方法」というものです。

トピックは「ベビーカートラブル」。人口問題、厚生労働省「イクメンプロジェクト」などを説明し、その上で国土交通省の略称「ベビーカー協議会」がいう「バリアフリー化の進展に伴い子ども連れでの外出が増加してきた結果、公共交通機関等におけるベビーカー利用に関するトラブルや意識の差などが顕在化」をめぐって意見を聴きました。

「トラブル」では、ぶつけられたとか、今の母親は迷惑を顧みず我がもの顔、といった指摘があります。広島電鉄は、専用スペースをつくってマークで区分し、トラブルを防止して乗降をスムースにする試みを早期に行っています。この事例に彼女たちは賛同一色でしたが、私の問いは「仕組み（構造）を変える」に代替させず、トラブル防止を当事者同士で行う必要はないか、でした。後日、届けられた感想の多くが「モノや他人に頼る前に自分のコミュニケーションで解決できることは解決してしまえば良いのだと…気づかされました」といったものでした。

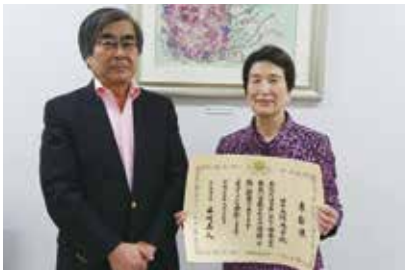
考えて欲しかったのは、若い学生にも、もちろん私たちの多くにも、当事者同士での解決への努力と能力とがもっとも大切だということです。国際調査では、他者と「付き合いをしない」日本人の比率が抜きんで高く、またNHK調査では会話・交際のない比率が年々高まってもいます。竹内稔『コンビニのレジからみた日本人』（商業界）には「レジでお客と相対することによるストレスは増加する一方なのだ。…それは、しゃべらないお客が多くなったからなのだ」とあります。

「無言社会」の到来に抗し、言葉で意思を示すことが「問題」解決に役立つ、その行為自体が自分を「強く」する。それが彼女たちに気付いて欲しかったただ一つのことです。

厚生労働大臣表彰

健康栄養学科の四十九院成子教授が、平年27年9月27日付けで厚生労働大臣から表彰状の授与を受けました。

これは、先生が長年にわたり栄養士養成に貢献された功績が顕著であることによって表彰されたものです。



表彰状を授与された四十九院教授と学長

釜山女子大学校との文化交流プログラムについて

平成27年度より、協定校である釜山女子大学校（韓国）との文化交流プログラムが始まりました。

まずは10月に、現代家政学科3年生（当時）小嶋

奏絵さん、野村咲櫻里さん、増田有伊子さんの3名が釜山女子大学校大学祭を訪れ、イベントを行いました。本学の歴史、本学学生の生活ぶり、日本のお菓子について紹介したのですが、合間に行ったクイズでは大いに盛り上がり、にぎやかで楽しい交流の会となりました。

また、11月の本学KVA祭では、釜山女子大学校カジノ科1年生(当時)四名が韓国茶道を披露してくれました。韓国の茶道具、屏風、お茶とお菓子を使った本格的な茶会に、集まった人達は熱心に見入っていました。終了後、お互いの民族衣装を着せあって写真を撮ったことが、両学学生にとって忘れられない思い出となったようです。

参加学生からは「文化の違いを理解し、分かちあう中で生まれる絆や交流を楽しみました」という感想が寄せられています。

本学学生が釜山女子大学校大学祭で日本を紹介

釜山女子大学校学生が本学KVA祭で韓国茶道を披露

本学と釜山女子大学校の学生がお互いの民族衣装を着せ合う

タイガー魔法瓶株式会社との連携事業「カタログデザインコンテスト」

平成27年度、本学ではタイガー魔法瓶株式会社と連携して「カタログデザインコンテスト」を実施しました。コンテストのテーマは『わたしが欲しいカタログデザイン』で、若者が手に取りたくなるタイガー魔法瓶株式会社のカタログの見出しページのデザインを競い合いました。現代家政学科、生活デザイン学科の学生から合計32件の応募があり、そのなかから20点が選ばれ、KVA祭で展示・投票が行われ、グランプリ1点、準グランプリ1点、入賞8点が選ばれました。入賞者には、タイガー魔法瓶株式会社の製品が賞品として授与されました。

タイガー魔法瓶(株)社長から賞品授与

現代家政学科主催 現代生活学セミナー「冷蔵庫の中から地球が見える」

まだ食べられるのに捨てられる「食品ロス」をテーマに、現代家政学科主催 現代生活学 セミナー「冷蔵庫の中から地球が見える」が平成27年10月31日千代田三番町キャンパスで開催されました。

企画・運営等を学生が担当し、消費者庁前長官の阿南久氏、フードバンク理事長マクジルトン・チャールズ氏など4名の講師とともにボランティアサークルの活動報告をしました。パネルディスカッション「現代生活学と食品ロス」では、学生やフロアからの質問に答えていただき、大いに盛り上がりました。

185名の学生が出席し、学外からの関心も高く、高校生・高校の家庭科の先生、企業・生協関係者など多数の参加者がありました。

詳細は現代家政学科オリジナルサイトに掲載しております。

阿南久 消費者庁前長官のご講演

東京家政学院奨学金・光塩会奨学金 授与式

平成27年11月14日(土)町田キャンパスで、東京家政学院奨学金・光塩会奨学金の授与式が執り行われました。この奨学金は勉学に努力した2年生以上の成績優秀者に支給される制度で、毎年教授会で決定が下されます。

授与式には廣江学長ほか大学役職者と、光塩会から会長・副会長、奨学金授与者が出席されました。最初に、廣江学長から東京家政学院奨学金の授与が行なわれ、次に永山光塩会会長から光塩会奨学金の授与が行われました。引き続き、学長、光塩会長から、祝福と激励のお言葉があり、授与式は終了しました。

奨学金授与後 出席者全員で記念撮影

株式会社ニチベイとの産学連携授業「デコブラインド」

平成27年度の現代家政学科「インテリアデザイン演習」の授業では、株式会社ニチベイとの産学連携授業として「デコブラインド」のデザインコンテストを行いました。

デコブラインドとはベネシャンブラインドのスラット（羽根）の部分にカッティングシートを切貼し、単調なブラインドを豊かに飾るものです。

企業側としてはオフィスビルユースに思われがちなブラインドを住空間で楽しく使う可能性の模索、本学学生としてはインテリアデザインにおいて大きな部分を占めるウインドウトリートメントについて、実践的に学べることがあり、双方に有意義な産学連携となりました。

千代田三番町キャンパス演習室とニチベイ日本橋ショールームで4回にわたり授業が行われ、履修者全員の作品提出の後、最優秀賞に岡本遥夏さん、優秀賞に大澤侑紀さん、山内彩郁さん（いずれも現代家政学科3年生）の作品が選ばれました。

これらの優秀作品は昨年11月18～20日に東京ビッグサイトにて開催された「インテリアトレンドショー第34回ジャパンテックス2015」において展示され、業界誌「インテリアビジネスニュース」10月25日号にも掲載されました。

優秀作品には㈱ニチベイから記念の盾が贈られました。
左から山内彩郁さん、岡本遥夏さん、大澤侑紀さん

第15回神田小川町雪だるまコンテスト

1月15日(金)～17日(日)にかけて毎年恒例の「神田小川町雪だるまコンテスト」が開催され、本学から2チームが参加しました。

今年は稀にみる暖冬の影響で、群馬県嬬恋村関係者から80tの雪の調達が大変だったという話もありました。

参加学生たちは、3日間雪と格闘し、制作に没頭した結果、道行く人たちにも大変好評で、制作途中から、雪だるまの前で記念写真を撮る人が絶えませんでした。

参加チーム：現代家政学科4GA

平成27年度「特別公開講座」開催報告

町田キャンパスにて、平成27年10月22日(木)に元オリンピックシンクロチームヘッドコーチであり、本学卒業生の金子正子氏をお迎えして「指導者の役割」をご講演いただきました。

また、千代田三番町キャンパスでは、平成27年11月26日(木)に本学名誉教授　石井廣志先生による『沖縄の伝統工芸の「歴史と魅力を語る」～沖縄にもたらされた大陸・東南アジアの伝統工芸～』特別公開講座が開講され、両キャンパスともに、好評のうち無事終了いたしました。

千代田三番町キャンパス・ローズホールにて
講演される石井廣志名誉教授

平成27年度「公開講座」開催報告

平成27年度東京家政学院大学公開講座は別表のとおり開講され、好評のうち無事終了いたしました。

平成28年度の予定は、決まり次第、順次ホームページ等でお知らせいたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

平成27年度公開講座開催状況

	講座名	開催日	担当教員
千代田三番町キャンパス	刺繍講座（全3回） ー（区限刺繍）フローレンタイン・ステッチ等ー	6月6日 6月20日 7月11日	蒲池　香津代　准教授 正地　里江　助手
	食品と加工（全2回） ー味噌造り・ソーセージー	6月6日 9月5日	林　一也　教授 綿貫　仁美　助教
	伝統食品（全1回） ー世界の発酵食品ー	11月28日	林　一也　教授 綿貫　仁美　助教
町田キャンパス	高齢期の豊かな生活に向けて（全3回） ー成年後見と老後の生活ー ー高齢期の生活と地域ー ー高齢期と社会貢献ー	10月17日 10月24日 10月31日	木本　明　教授 嶋田　芳男　准教授 鈴木　知佐子　教授
	工芸制作（全2回） ー寄木を活かした小物づくりー	10月17日 10月24日	高尾　純宏　准教授

ラッピングバスの運行開始について
― 新交通広告の試み ―

平成27年11月30日から、本学の校章をイメージ化したデザインによるラッピングバス2台が運行を開始しました。

運行対象区域は、神奈川中央交通㈱相模原営業所城山操車所管内で、橋本駅から本学近隣が含まれており、地域住民に対して動く広告物として、目に留まることが期待されます。

採用デザインは、学生・教職員全員を対象として、コンペ形式でデザイン作品を募り、多数の応募デザインの中から選出された最優秀デザイン作品です。

運行開始したラッピングバスの様子

JR相原駅西口前広場鳥観図

JR相原駅西口前バスロータリーの供用開始
― 町田キャンパスへの通学時間短縮・利便性向上 ―

町田キャンパスの最寄り駅であるJR相原駅西口前広場が完成し、平成28年3月28日からバスロータリーの利用を開始しました。

これまで駅の改札を出てから、バスの乗降場所まで5分以上歩く必要がありましたが、乗り場まで屋根が設置されている駅直結のバスロータリーが完成したことによって雨の日も濡れずにバスを待つことができます。更に駅からの出入り口に一番近い位置に本学行きのバスの乗降場所が設置されています。

相原駅を利用する町田キャンパスへの通学環境が大幅に改善され、多くの学生に喜ばれています。

ドッジボール大会（千代田三番町キャンパス）

12月6日(日)に千代田三番町キャンパスアリーナにて学友会主催の「ドッジボール大会」が開催されました。参加は8チーム、2ブロック総当り戦～上位チームによるトーナメント戦が行われました。決勝は昨年と同じ、3年生「ファイターズ2」と2年生「MJ48」の対戦となり3年生の「ファイターズ2」が、昨年準優勝の雪辱を見事果たしました。

1年生の参加が多かった今年は、まさに若さ弾ける大会になりました。

優勝チーム「ファイターズ2」準優勝チーム「MJ48」

生活文化博物館移管資料展(2)「うっとり…レース」展（報告）

生活文化博物館では、平成27年11月9日(月)～平成28年2月5日(金)の期間に「うっとり…レース―一本の糸からつくる美空間」展を開催し、本学短期大学の旧手芸研究室が所蔵していたアンティークレースを中心に約200点の作品を公開しました。

会期中には地域情報紙や新聞でも紹介され、近隣の方々だけでなく九州地方といった遠方からも来館されるなど多くの方に見ていただきました。見学された皆さんの感想には、作品の緻密さ美しさを賛美するものが多く、好評のうちに終了しました。

KVA祭でのギャラリートークの様子

企画展「メディアと博物館のあゆみ」展（予告）

生活文化博物館では、平成28年6月1日(水)～10月7日(金)の期間に「メディアと博物館のあゆみ」展(仮称)を事務局入試広報グループとの共催で開催します。当館は、平成27年で開館25周年となり、本展はそれを記念して博物館の25年の活動を大学の動向と絡ませながら展示します。内容は、開設に至る経緯や開館に備えて収集した資料、特別展の履歴、用具や機材といった博物館の裏方の部分も含めて公開します。合わせて入試広報グループでとりためた各メディアの本学関連記事を紹介します。

平成3年度(1991)第3回特別展の様子

東京家政学院大学　入試・オープンキャンパス日程

■入試日程

入試種別	日程	出願期間※1	試験日	合格発表日	入学手続締切日
AO入試（オープンキャンパス参加型）	1期	9月1日(木)～9月9日(金)	別に定められた出願前の面談日	9月15日(木)	9月27日(火)
AO入試（課題型）	1期	9月1日(木)～9月9日(金)		9月15日(木)	9月27日(火)
	2期	10月6日(木)～10月14日(金)		10月21日(金)	10月31日(月)
	3期	10月25日(火)～11月1日(火)		11月9日(水)	11月17日(木)
	4期	12月13日(火)～12月19日(月)		12月22日(木)	1月6日(金)
	5期	3月14日(火)～3月17日(金)		3月22日(水)	3月27日(月)
推薦入試	A日程	10月19日(水)～10月26日(水) 窓口受付：10月27日(木)	11月3日(木)	11月9日(水)	11月17日(木)
	B日程	11月17日(木)～11月25日(金) 窓口受付：11月28日(月)	12月3日(土)	12月7日(水)	12月16日(金)
一般入試	S日程	1月4日(水)～1月12日(木)	1月21日(土)	1月26日(木)	2月3日(金)
	A日程	1月4日(水)～1月19日(木) 窓口受付：1月20日(金)	2月1日(水) 2月3日(金)	2月7日(火)	2月15日(水)
	B日程	1月4日(水)～2月8日(水) 窓口受付：2月9日(木)	2月15日(水)	2月17日(金)	2月27日(月)
	C日程	2月20日(月)～3月1日(水) 窓口受付：3月2日(木)	3月9日(木)	3月10日(金)	3月17日(金)
センター試験利用入試	A日程	1月16日(月)～2月1日(水) 窓口受付：2月2日(木)	大学入試センター試験 1月14日(土) 1月15日(日)	2月8日(水)	2月17日(金)
	B日程	2月6日(月)～2月16日(木) 窓口受付：2月17日(金)		2月22日(水)	3月2日(木)
	C日程	3月2日(木)～3月13日(月) 窓口受付：3月14日(火)		3月17日(金)	3月27日(月)
特別選抜試験（社会人・海外帰国子女）	A日程	8月25日(木)～9月2日(金)	9月13日(火)	9月15日(木)	9月27日(火)
	B日程	12月5日(月)～12月14日(水)	1月7日(土)	1月13日(金)	1月20日(金)
私費外国人留学生試験	A日程	7月19日(火)～7月29日(金) 窓口受付：上記期間中	9月13日(火)	9月15日(木)	9月27日(火)
	B日程	11月9日(水)～11月25日(金) 窓口受付：上記期間中	1月7日(土)	1月13日(金)	1月20日(金)
編入学試験・学士入学試験	A日程	8月25日(木)～9月2日(金)	9月13日(火)	9月15日(木)	9月27日(火)
	B日程	12月5日(月)～12月14日(水)	1月7日(土)	1月13日(金)	1月20日(金)

※　出願期間は、郵送での締切日（消印有効）を表す。
※　日程は変更になる可能性がございます。詳細は大学案内、学生募集要項をご覧ください。

■AO入試（オープンキャンパス参加型）面談日・キャンパス

	面談日	児童学科
1期	8月2日（火）	町田

■AO入試（課題型）面談日・キャンパス

	面談日	現代家政学科	健康栄養学科	生活デザイン学科	児童学科	人間福祉学科
1期	8月26日(金)	千代田三番町	千代田三番町	町田	町田	町田
2期	10月1日(土)	千代田三番町	千代田三番町	町田	町田	町田
3期	10月22日(土)	千代田三番町		町田		
4期	12月10日(土)				町田	
5期	3月11日(土)				町田	

■オープンキャンパス日程

	千代田三番町キャンパス	町田キャンパス
5月	15日（日）	8日（日）
6月	5日（日）、26日（日） 5日（日）は進学相談会（ローズ祭同時開催）	19日（日）
7月	17日（日）	24日（日）、31日（日）
8月	6日（土）、7日（日）	21日（日）
9月		17日（土）
10月	2日（日）	
11月		12日（土）、13日（日） 進学相談会として開催（KVA祭同時開催）
12月	3日（土）	
3月	26日（日）	26日（日）

（お問い合わせ先）
東京家政学院大学・大学院
〒194-0292　東京都町田市相原町2600番地
町田キャンパス　入試広報グループ
TEL　042−782−9411
URL　http://www.kasei-gakuin.ac.jp/
E-mail　nyushi@kasei-gakuin.ac.jp

筑波学院大学　入試・オープンキャンパス日程

■AO入試【セミナー型】

区分	セミナー開催日	出願資格認定通知日	出願期間（消印有効）	本面談日	合格発表日
1期	7月24日（日）	7月25日（月）	7月26日（火）～8月3日（水）	本面談はありません	8月8日（月）
2期	9月25日（日）	9月26日（月）	9月27日（火）～10月7日（金）	本面談はありません	10月14日（金）

■AO入試【予備面談型/作品型】

区分	出願期間（消印有効）	本面談日	合格発表日
1期	8月1日（月）～8月22日（月）	8月27日（土）	8月29日（月）
2期	8月29日（月）～9月12日（月）	9月19日（月・祝）	9月20日（火）
3期	10月24日（月）～11月7日（月）	11月13日（日）	11月15日（火）
4期	1月10日（火）～2月3日（金）	2月12日（日）	2月14日（火）
5期	2月27日（月）～3月14日（火）	3月20日（月・祝）	3月21日（火）

■推薦入試

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表日
A日程	10月17日（月）～10月31日（月）	11月3日（木・祝）	11月4日（金）
B日程	11月28日（月）～12月13日（火）	12月18日（日）	12月19日（月）

■一般入試

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表日
A日程	1月10日（火）～2月3日（金）	2月5日（日）	2月7日（火）
B日程	2月13日（月）～2月28日（火）	3月5日（日）	3月6日（月）

■センター試験利用入試［大学入試センター試験日：1月14日（土）・15日（日）］

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表日
A日程	1月10日（火）～2月3日（金）	本学独自の学力審査はありません	2月14日（火）
B日程	2月13日（月）～2月24日（金）		3月6日（月）
C日程	2月27日（月）～3月10日（金）		3月21日（火）

■私費外国人留学生入試

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表日
A日程	10月24日（月）～11月11日（金）	11月23日（水・祝）	11月25日（金）
B日程	1月23日（月）～2月7日（火）	2月19日（日）	2月21日（火）
C日程	2月13日（月）～3月3日（金）	3月14日（火）	3月15日（水）

■社会人入試

出願期間（消印有効）	試験日	合格発表日
1月10日（火）～2月3日（金）	2月12日（日）	2月14日（火）

オープンキャンパス

4月24日（日）	10:30～	
5月29日（日）	10:30～	
6月26日（日）	10:30～	
7月24日（日）	10:30～	AOセミナー同時開催
8月7日（日）	10:30～	
8月28日（日）	10:30～	
9月25日（日）	10:30～	AOセミナー同時開催
10月22日（土）・23日（日）	10:30～	KVA祭同時開催
12月11日（日）	10:30～	
3月26日（日）	10:30～	

入試相談会

1月22日（日）	10:30～
2月26日（日）	10:30～

授業公開期間

7月25日（月）・7月26日（火）

（お問い合わせ先）
筑波学院大学
〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3-1 入試広報グループ
TEL. 029-858-4815　FAX. 029-858-7388
URL　http://www.tsukuba-g.ac.jp　E-mail　nyushi@tsukuba-g.ac.jp

筑波学院大学
TSUKUBA GAKUIN UNIVERSITY

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3-1
TEL.029-858-4811（代表）
FAX.029-858-7388

URL http://www.tsukuba-g.ac.jp

新入生を迎えて

学長　大島　愼子

ご入学おめでとうございます。

大学で学ぶ目的は、知識を得ることだけではなく、皆さんが自立し行動を起こすための力を身につけることです。

筑波学院大学では、学校法人東京家政学院の創立者である大江スミ先生の教育理念である知識（Knowledge）の啓発、技術（Art）の錬磨、徳性（Virtue）の涵養を継承し、グローバル化し、高度なICT社会で活用できる国際教養とICT技術およびデザイン能力を習得し、それらを社会に役立てる意欲を育てる教育を行っています。本学では、一、二年生が必修科目として「つくば市をキャンパスに」地域連携プログラムに参加して活動します。現在約一〇〇団体にご協力いただいていますが、皆さんもこのプログラムで地域活動に参加し、社会の課題に気づき、また、自分は将来どのように関わるべきか可能性を見出してください。

グローバル化によって、世界経済の相互依存関係は強まりますが、利害の対立も激しくなり多様な価値観がぶつかります。そのような時代に生きる皆さんは、異なる価値観や個性を理解し尊重する態度と、自分の考えを相手に理解してもらうコミュニケーション能力が求められます。日本は高度な文明社会ですが、日本人の考え方、日本文化を伝えるには外国人との共通言語が必要です。日本を世界に伝えるためには我々が外国語を学び異文化圏の人たちが理解するように発信しなければなりません。ビジネス社会は英語が共通言語ですから、外国語は特技ではなく社会を生きる上で必要な技能ととらえてください。

本学では、各コースにとらわれず、自分が興味をもつ科目を横断的に学べる体制をとっています。地域連携活動を行い、自分が好む科目を勉強して知識を積み重ね、問題意識をもち、そして自分を活かす職業をみつけてください。

皆さんが本学で充実した4年間を過ごし、国際的な視野をもち、確かな目標をもって社会に巣立つように、教職員が協力して支援いたします。

学友会役員決定

学友会

会　長　飯島 直幸
副会長　橋本 未来
会　計　坂入 勇輝、岩間 優斗、益子 雄太郎
書　記　村木 奈緒子、渡辺 和人
広　報　関 翔太、浦壁 世弥
渉　外　根本 健太、中村 大地、大塩 健一、藤田 汐奈
会計監査　藤田 翔太

クラブ連合会

会　長　須藤 愛里沙
副会長　金塚 六美

第26回KVA祭実行委員会

委員長　大塩 健一
副委員長　川澄 奈々

学友会会長挨拶

学友会
会長　飯島　直幸

平成28年1月13日の学生総会に於いて承認を受け、筑波学院大学学友会長に就任しました飯島直幸です。私は「行動に移せない自分」を変えるため、入学後すぐに学友会役員を始めとしてKVA祭実行委員、オープンキャンパススタッフ等様々な活動を行ってきました。

「会員相互の親睦と品位の向上を図るとともに、自主精神とKVA精神を基として人間形成に努め、あわせて筑波学院大学の発展向上に寄与すること」を指針に、私はこれまでの先輩方が行ってきた企画や業績に執着せず、どんどん新しいことに取り組んでいきたいと思います。また、昨年度に引き続き本年度もクラブ連合会と協力し、サークルや同好会がより活動しやすい環境を作り、大学での学生活動を活性化していきたいと考えています。学生の皆さんの意見を学友会活動に反映させるため、これまで通り意見箱を活用し、誰もが過ごしやすく、充実した学生生活を送ることのできる大学を作ります。

災害ボランティアセンターを設置

先の関東・東北豪雨での被害を受けて、9月11日(金)、学内に「災害ボランティアセンター」を立ち上げました。学生全員からボランティアを募って、翌12日(土)から県のボランティアセンターや、常総市のみなさんのボランティアから情報を収集し、つくば市内で避難所となっていた豊里交流センターとJA谷田部で、つくば青年会議所が行っている炊き出し作業に参加しました。

また、高校生にも広く関心を持ってもらえるよう、オープンキャンパスでも『災害ボランティアセンター』に関する掲示を出しました。

9月18日(金)には常総市で行うボランティアのためのバスツアーを企画しました。この呼びかけに日頃からOCP活動報告の記事を掲載してくださっている常陽新聞株式会社が「防塵マスク」と「バケツ」、そして「スコップ」を寄贈してくださいました。

当日は、教職員18名が参加。救援物資受け渡しの拠点である水海道総合体育館での活動のほか、民家の水のかき出し・水に浸かってしまったお米の片づけなど、現地の活動に参加してきました。

その後、ジャグリングサークルのメンバーが、大きな被害を受けた常総市の児童館のクリスマス会で、パフォーマンスや体験会を実施するなど、子どもたちの心のケアも兼ねて、ジャグリング活動を継続して行っています。

常総市の復興にはまだまだ時間が掛かりますが、今後も継続して活動を行っていきます。

炊き出しの様子

常陽新聞からの寄贈

福島ジュニアフェスティバル開催

7月12日(日)、本学学生と筑波大学生との共催で、東日本大震災や原発事故の影響で、被災地から茨城県内に避難している子供たちのコミュニティ作りを目的に、『福島ジュニアフェスティバル』を開催しました。

当日は、宮城県や福島県から茨城県内8市町に避難されている9世帯14名のお子さん、及び14名の保護者、合計28名に参加いただきました。ダブルダッチ、ドッチビー(フリスビーを使ったドッチボール)、人間知恵の輪など、6種目を子供達と大学生たちがチームワーク良く、楽しみました。

昼食は、いばらきコープ生活協同組合から茨城県産の高級食材を提供いただきました。

アンケートでは、子供たち同士のコミュニティは必要で、また開催して欲しい、という意見が多数寄せられ、目的が達成できたことがうかがえました。

なお、この取り組みはNHKの密着取材を受け、特番として放送されました。

福島の子供たちとダブルダッチ

留学生が茨城県親善大使に任命される

平成27年6月20日(土)に茨城県国際交流協会にて茨城県留学生親善大使任命式が行われ、9名(継続含む)の本学の学生が留学生親善大使として任命されました。今後、親善大使として小中学校へ派遣され、母国の文化や習慣、日本との違い、母国の子供遊びなどの紹介を行う講師として活動します。また、国際交流イベントなどへの参加を通しても母国紹介を行い、日本の子供たちと触れ合う交流活動を通じて国際交流の推進を行います。

任命式での記念撮影

みずほ村市場エコバッグ　ロゴデザイン

11月24日(火)に本学と株式会社みずほジャパン共同の記者会見を行いました。これは、本学の学生が専用のロゴとエコバッグを制作するという形で、みずほジャパンが運営するタイ・バンコク店直売所での農産物の海外販売に協力することになったためです。

取り組むに当たり、学生は、事前調査として、みずほの村市場つくば店に足を運び、実際にタイで販売しているものと同等の野菜や果物を試食したり、スタッフのプロジェクトに賭ける想いをヒアリングするなどして、デザインイメージを膨らませていきました。

ロゴは、みずほジャパンが、日本を代表する茨城県産の高級農産物を海外販売しているというブランドイメージを大切にし、「トマト」と日本の国旗「日の丸」をモチーフにしています。また、習字で書いた「MIZUHO」という文字体を使用することで、さらに日本らしさを表現しています。

エコバッグは、バンコク店で人気のある農産物を選び、「トマト」「いちご」「いちごの断面」など計3種類をデザインしました。日本の農産物を入れるにふさわしい色調と親しみやすさをイメージしています。制作は、デザインのバリエーションを増やし、かつ、コストを抑えるために、シルクスクリーンを使って、一つ一つ丁寧に手刷りをしました。

タイでは、ゴミのポイ捨てが問題となっており、環境に対する意識も、決して高いとは言えません。学生が制作したエコバッグが普及することで、タイでの環境問題の解決に、少しでも役に立てれば、という思いもあります。今後は、販売する農作物の季節に合わせたデザイン、大きめのサイズのバッグ制作、インドネシアやインドでの販売を見据えたデザイン開発などを行っていきたいと思っています。

これらの作品は、高嶋啓講師の指導のもと、メディアデザインコースの河村藍子さん(3年生)、星華子さん(3年生)が制作しました。

記者会見での1枚

水戸農業高等学校「手作りお味噌」ラベルデザイン

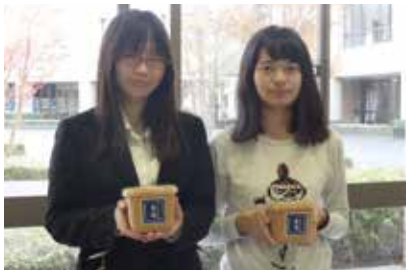
本学の授業「実践科目C」の一環で、学生が茨城県立水戸農業高等学校食品科学科の生徒が製造した手作り味噌「夢遥」の商品ラベルのデザインに取り組み、授業で習得したスキルを生かし、素敵なラベルに仕上げることができました。

水戸農業高等学校では、毎年、生徒が実習の一環として、味噌の製造を行っており、それを学校内の直売所や地域イベントなどで販売しています。これまで、ラベルのデザインは、先生方が行っていましたが、新たなブランドイメージを作るために、本学の学生にデザイン制作の依頼がありました。

学生は、毛筆で仕上げた作品、高校生の味噌製造過程の様子が分かる写真を前面に出した作品など、10パターン以上のデザインを制作し、高校に提案をしました。

その中から、シンプルで活き活きとした、毛筆調で青色のデザインが選ばれました。

今回の作品が高い評価を得たことから、引き続き、イチゴ、リンゴ、ブルーベリー、柚子マーマレード、ピーナッツクリームなどの、ジャムのラベルデザインをセットで行わせていただくことになりました。


デザインを手がけた星華子さん(左)と河村藍子さん(右)

プログラミング&アルゴリズム講習会「レギオ」開催

情報オリンピックの出場をめざす中高生向けの企画「情報オリンピック地域密着型学習支援施策・プログラミング&アルゴリズム講習会『レギオ』」が高藤清美教授を講師とし、2名の学生アシスタントが付いて、8月8日、25日に開催されました。『レギオ』では、アルゴリズム＝データの処理手順やプログラミング手法を学ぶとともに、問題を解決するための考え方や目の付け所についても学ぶことができます。茨城県では茨城県教育委員会が中心となり、二〇一〇年から開催、そのうち本学での開催は、二〇一一年、二〇一三年に続いて3回目となります。

二〇一五年は、県内の学校から26名の申し込みがあり、2日間に渡ってアルゴリズムやプログラミングを満喫することができました。参加者の中から、今秋から始まる国内予選を勝ち抜き二〇一六年のロシア大会に出場し、活躍するメンバーが出ることを期待しています。

任命式での記念撮影

知財活用アイデア大会茨城県大会で優秀賞を受賞

11月7日に筑波銀行つくば本部ビルで開催された「知財活用アイデア茨城県大会」に本学から2チームが参加しました。

3年生を中心とした「チーム・ケセランパサラン」は「Found～無くしもの発犬器～」というテーマで、JAXAの開放特許「二次元アクチュエータ」を利用した提案をし、斬新性とキャラクター性を高く評価され、優秀賞を受賞しました。4年生のチーム「てらこや」は「集めて！トルッチャ！～商店街キャラクター収集～」というテーマで、富士通の開放特許「捕獲遊具技術」を利用した提案をし、受賞はなりませんでしたが、高い評価を得ていました。

「チーム・ケセランパサラン」は県代表として、11月28日に東京で開催された東日本大会に出場しました。全国大会への出場は叶いませんでしたが、御指導を頂いていた筑波銀行様、三友製作所様からは全国大会出場チームと遜色がなかったとの評価を頂き、自信とすることができました。

優秀賞受賞「チーム・ケサランパサラン」

「プラザ・パフォーマンスギャラリー」空間デザインコンペティション

メディアデザインコースの3年生21名による空間デザインコンペティションが、つくばクレオスクエアMOG1階広場「プラザ・パフォーマンスギャラリー」で開催されました。

コンペティションでは、学生の空間デザイン提案をパネルに展示し、一般市民による投票を行い、メディアデザインコース3年の河村藍子さんが提案した、クジラの親子が気持ちよさそうに海を泳ぐ作品「水族館」がグランプリに選ばれ、9月末まで展示されました。惜しくもグランプリに選ばれなかった作品も、市民の方から沢山の表を集めたすばらしい作品が多数ありました。グラフィックデザインの制作や、サインデザイン計画などを、クリエイティブな自己表現として、地域貢献に繋げています。

河村藍子さん提案の「水族館」

中華大学へ学生を短期研修で派遣

平成27年12月8日～14日の7日間、本学から11名の学生を派遣し、台湾の中華大学で日本語を専攻する学生たちと交流を行いました。中華大学生の日本語の会話練習の補助活動や、プレゼンテーションによる日本の文化紹介、中国語の学習研修、歓迎イベントなどへの参加を通し、国や文化を超えた交流を行いました。中華大生との交流は、コミュニケーションについて考えるよい機会となったようです。両大学の交流研修は10年目を迎えました。

たくさんのイベントで交流を深めました

日中対抗国際ペーパーカーレース

12月12日(土)、本学と中国の長春大学でテレビ会議システムを利用した「ペーパーカーレース二〇一五」が開催されました。

本学の授業でCADを学ぶ学生が長春大学の学生と行なっている恒例の対抗レースです。互いのペーパーカーを走らせ走行タイムやデザインを競い合いました。これは「機械CAD2」の時間にCADの操作法の練習と、設計のセンスを学ぶ授業の一環として行っています。走行タイムを競うという目的のもと、製作の条件に従って各自で企画・設計・製作した紙の車を持ち寄り、直線コースを走らせ成果を競います。CADで図面を描いてケント紙にプリントし、切り抜いて組み立てた紙の車で車軸の木の丸棒以外は全てケント紙で作り、配布された模型用のモーターと電池ボックスを載せ、モーターと動輪のプーリに輪ゴムを掛けての動力伝達でタイヤを回し走らせる競技です。

学内でのレースは短大時代から続いており、今年で23回目、中国とのテレビ会議システムによるペーパーカーレースの交流は今年で14回目となりました。長春大学からは代表選手21人の車がエントリーし互いに競い合いました。中継で自己紹介とともに紹介し合った車の中から日本側から中国のデザイン賞、そして中国からも日本側のデザイン賞をそれぞれ選びました。今回の国際交流も多くの先生方の支援のもと、学生達の授業の成果を競う楽しいペーパーカーレースとなりました。

長春大学(中国)の皆さんと記念撮影

KVA祭・KVA CUPが開催されました

10月24日(土)・25日(日)第25回KVA祭が開催されました。2日間とも晴天に恵まれ、多くのお客様にご来場いただきました。1日目は今年で第10回目の記念大会をむかえる小学生ドッジボール大会KVA杯が開催され、県内外より13チームが参加し、優勝を目指しました。表彰式では、記念のボールが各チームに贈られました。また、屋外ステージでは軽音サークルによるライブや、キッズダンスショー、ヒーローショーなどが行われ、模擬店を利用する多くのお客様に楽しんでいただきました。

2日目には「お笑いイベント」が開催されました。開演前より多くのお客様が並ばれ、今年度のテーマでもある「笑いの花吹雪」をふりまき、会場は大いに盛り上がりました。その他、華道部主催の「生け花コンテスト」や茶道部の「茶道体験」、各サークルの展示やゼミの発表など、多くの企画が実施されました。

また、24日(土)には、第3回KVA CUP(英語スピーチコンテスト)が本学大教室で開催されました。コンテストは、小学生の暗誦、小学生帰国子女・マルチカルチャーのスピーチ、中学生のスピーチ、高校生のスピーチと質疑応答、大学生・社会人の即興スピーチと質疑応答の5部構成で、今年も全国から47名の出場者があり、各部門ごとに素晴らしいスピーチが行われました。また受賞者には、協賛企業の株式会社エイチ・アイ・エス、株式会社i・JTB、株式会社ブリティッシュ・ヒルズ(神田外語グループ)、オックスフォード大学出版局株式会社、カシオ計算機株式会社から副賞が贈られました。後援は、茨城県教育委員会、つくば市教育委員会、一般社団法人日本英語交流連盟、公益社団法人日本英語検定協会、及び株式会社茨城新聞社で、表彰式、懇親会にはつくば市長も出席され大いに盛り上がりました。

KVA祭でのライブの様子

屋外ステージでのダンスショー

KVA CUP受賞者との記念撮影

東京家政学院中学校・高等学校

TOKYO KASEIGAKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

〒102-8341
東京都千代田区三番町22番地
TEL.03-3262-2255（中学）
TEL.03-3262-2256（高校）

URL http://www.kasei-gakuin.ed.jp

入学生の皆さんへ

校長　長尾　宏

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから中学生は六年間、高校生は三年間、この家政学院で過ごすことになります。合格通知を受け取ったその日から、皆さんはこれから始まる学校生活に多くの期待をされたことと思います。新しい友達との出会いはきっと皆さんを更なる成長へと導いてくれることでしょう。

本学院の教育目標は、皆さん全員が希望する進学先に進むことのできる能力を身につけることです。そしてそれを実現するために、三つの柱に沿って指導を展開しています。

まずは学力ですね。本校では、基礎学力をしっかりと身につけることに時間を費やしています。そして、それをもとに論理的思考に裏付けされた、つまり知識を実生活で活用することのできる「真の学力」を身につけさせます。そのために本校独自の学習プログラムに沿って、コース別の授業、習熟度別授業、補習、講習と徹底した少人数での指導を展開しています。

次に、自分の個性あるいは特性を最大限に活かせる進路選択ができる能力を「進路指導」によって身につけます。本校の進路指導の特徴は「自分を知る」ことから始まります。ですから結果として後悔しない、自分自身が納得のできる進路に巣立ってゆけるのです。

最後は、社会性を育む指導です。本校の誇る「ライフキャリア教育」によって、社会人として必要なコミュニケーション力、ディベート力、プレゼン力を育てます。

在学中にこうした能力を身につけることによって、生きる力（学力・人間力）が身につくとともに、自身の成長が生み出す自尊の心（自分を好きでいられる、大切に思える、誇りに思える心）が育まれることで社会に貢献できる自立した女性へと成長できるのです。学校生活全般を通して、皆さんの中にまだ眠ったままでいる、いわゆる「潜在能力」を私たちと一緒に伸ばしていきましょう。

成人を祝う会

ごきげんよう。平成28年1月11日（祝）、大江スミ記念ローズホールにて第4回成人を祝う会が開催されました。

皆さん美しい着物を身につけ、平成25年度卒業生約80余名が、久しぶりに母校に集合し、教師・友人との楽しい時間を過ごしました。

当日は、あづま会とPTA役員の皆さんのご協力もあり大成功に終わりました。卒業生の皆さん、成人おめでとう。世界を舞台に、いざ、飛翔!!

第4回　成人を祝う会

書道部　入選

昨年行われた東京都高等学校文化連盟書道部会、第二十八回展覧会で高校三年の片山綾乃さんが会長奨励賞を受賞しました。

この展覧会には本校は三年前から参加しており、片山さんは今回二度目の受賞となります。片山さんは小学生の頃から書道教室に通っており、本校でも高校三年間書道部に在籍していました。高校一年制の時に同賞を、高校二年生の時には家政学院の前身である家政学研究所発祥の地に建てられた記念碑の碑文を記しました。その他、卒業時には高等学校文化優良生徒にも選ばれる等、大変立派な活躍でした。この四月からは四年制の私立大学で語学を勉強しています。

書道部は中学生と高校生が一緒に活動しています。中学生は高校生の作品にいつも感動し、良い刺激をもらうようです。高校生は中学生に見られている緊張感がやはり良い刺激となるようです。作品を書いている時にはゆったりとした時間が流れ、穏やかな雰囲気が書道室に広がります。

新入部員は随時歓迎しています。

書道展入選　片山 綾乃さん

合唱祭報告

合唱祭実行委員長　高2　杉浦　里奈

ごきげんよう！一月二十八日、合唱祭が行われました。毎日練習を重ね、本番ではどのクラスもその成果を発揮し、すばらしい合唱でした。中学一年生は、元気で明るい歌声を、二年生は安定した落ち着きのある歌を聴かせてくれました。三年生は少人数ながら、一人ひとりが客席にまっすぐ思いを届けてくれたと感じました。高校一年生は、高校から入学した多くの生徒にとって、初めての合唱祭でしたが、一生懸命歌う姿に感激しました。そして二年生は、最高学年として納得できる、力強い合唱をホールに響かせました。

近年恒例のイベントとして、今年は先生方と生徒全員で「やさしさに包まれたなら」を歌いました。悩みに立ち向う女の子を明るく前向きに応援してくれる曲なので、私たちにぴったりだと思い選びました。会場は例年以上に盛り上がり、笑顔であふれました。　ご来場頂いた皆さん、ありがとうございました。

高校大江賞　高2A「手まり」

2017年度入試（実施：2016年度）東京家政学院中学校・高等学校説明会日程

中学校			
キャンパスツアー		説明会	
4月23日(土)	11:00	5月8日(日)	10:00
11月5日(土)	11:00	6月19日(日)	10:00
1月7日(土)	11:00	6月27日(月)	10:00
		8月23日(火)	10:00
		9月22日(木)	10:00
		10月15日(土)	14:00
		11月26日(土)	14:00
		12月24日(土)	10:00
		1月14日(土)	14:00
		3月25日(土)	10:00

高等学校			
キャンパスツアー		説明会	
7月2日(土)	11:00	7月30日(土)	9:30
9月24日(土)	11:00	8月27日(土)	9:30
10月15日(土)	11:00	10月30日(日)	9:30
11月12日(土)	11:00	11月19日(土)	14:00
1月14日(土)	11:00	12月3日(土)	14:00
		12月10日(土)	14:00
		12月26日(月)	10:00

■中学校・高等学校 共通

学校見学できます。
【平日】10:00～16:00　【土曜】13:00～16:00
事前にご連絡下さい。
（学校行事等の都合で見学できない場合があります）

文化祭は受験生・保護者に公開しています。

10月9日(日)	10:00～15:00	文化祭（常磐祭第二部）
10月10日(月)	10:00～15:00	文化祭（常磐祭第二部）
1月27日(金)	13:00～	合唱祭 ※合唱祭の会場は練馬文化センターです。

＜問合せ先＞
東京家政学院中学校・高等学校　〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
TEL：03-3262-2256　FAX：03-3262-2223　MAIL:koho@chuko.kasei-gakuin.ac.jp

学校法人 東京家政学院

Knowledge
Virtue
Art

知識を高める
徳性を養う
技術を磨く

学校法人東京家政学院
〒102-8341
東京都千代田区三番町22番地
（代表電話番号）03-3262-2251

URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/

新しい年度を迎えて
～地の塩、世の光への道「新KVAルネサンス」～

学校法人東京家政学院
理事長　沖吉　和祐

若葉が目に鮮やかな4月、入学生の皆様を迎え、新しい教職員を加えて、夢と希望に満ちた、そして課題に取り組む新年度がスタートしました。

進級した学生・生徒の皆様には、これまでの学習成果を基に、未来に向けてさらに充実した学院生活を実現いただくよう期待しています。

グローバル化が進む時代にあって、社会の基礎となる家庭、地域の在り方が問われています。こうした中、生活の基本となる知と技を身につけ、それを正しく活かす徳（教養）を備えた家庭人・社会人を育てることを建学の理念（KVA精神）とする本学院の役割は、いっそう大きくなることでしょう。

本年は、大正12年に学院が創立されて93年になります。この間に卒業した5万人を超す同窓生は、色々な場で活躍されています。本年は、同窓会の創立90周年です。その名「光塩会」は、卒業生が、地を固める塩として、世を照らす光として、家のため世のために役立つ『国際教養人』となることを希望して、創設者大江スミ先生が命名されました。

いま、学院の新たな発展を期して、「新KVAルネサンス」を展開しています。家政学院だからこそできる活動は何か、世界に先駆けて初めて行えることは何か、学院の伝統を将来に活かす取り組みを、みんなで考え、実現に向けて共に努力しましょう。

中学・高校・大学生の時期は、人生で最も変化し輝く時であり、悩む時です。互いに協力し、未来に羽ばたく生徒学生を支えることにより、地域と共に歩む、地域の中の学校として、社会に貢献していこうではありませんか。

東京家政学院 創立100周年記念募金

東京家政学院創立100周年記念募金へのご協力に、厚く御礼申し上げます。ご寄付いただきました皆様への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。

（平成27年6月～平成28年1月分）

井澤　尚子	佐原　成夫	福西　玲子
岩崎　正宏	鈴木　茂	三木　久子
榎村　尚子	田邊　良子	両角　啓子
沖吉　和祐	野口　豊隆	山口　孝
込山　弥彦	羽崎　晴美	山田　順子
齊藤　知恵子	長谷川　悦子	渡辺　徹

ほか匿名希望の寄付者4名、企業1社。（敬称略・五十音順）

東京家政学院 創立90周年記念募金

東京家政学院創立90周年記念募金の寄付者銘板が完成し、千代田三番町校舎1階に設置しました。

改めまして、皆様のご協力に、心から感謝を申し上げます。お近くへお越しの際はどうぞお立ち寄りください。

東京家政学院創立100周年記念募金にご協力いただける方は募金事務局までご連絡ください。
寄付金募集要項及び寄付申込書を送付いたします。 所得税を軽減できます。詳しくはHPをご覧ください。

＜お問合せ・お申込み先＞　学校法人東京家政学院　募金事務局　〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
TEL:03-3262-2242　FAX:03-3262-2174　MAIL: bokin@kasei-gakuin.ac.jp

新入生に向けて

光塩会
会長　永山　スミ

御入学、おめでとうございます。

皆さまの御入会を会員一同、心から歓迎いたしております。

光塩会は、学院で学ばれた方々の同窓会でございます。今年は、一九二六年３月卒業生皆さまの集いに始まった『光塩会設立90周年』を迎え、意義深い年でございます。現在、会員は約５万人、全国各地、多方面で素晴らしい御活躍をなさっておられます。

光塩会は、卒業生と皆さまとが縦横の絆として連帯し、固く結ばれる場でございます。会員は、皆さまの学院生活が喜びに溢れ、楽しく学ぶ日々でありますよう声援をお送りしております。光塩会に関心をお寄せ下さいまして、諸活動にも是非、御参加くださいませ。

母校は心の故郷、生涯所属する場、生涯学習の場でございます。

皆さまとのよき出会いにより、友情の輪が拡がりますよう、会員一同、心から願っております。

九州地区懇親会にて英国偉人伝を紹介

新入生の皆さんへ

あづま会
会長　澤田　三和子

ご入学おめでとうございます。

ようこそ東京家政学院へ。

あづま会は東京家政学院高等学校の同窓会です。

今年の主な活動

＊総会・懇親会の開催
＊「あづまだより」の発行
＊ホームページの配信
＊奨学金の給付
＊校章ストラップ・
　あづリーヌのコンパクトミラーの販売
＊常磐祭の参加

常磐祭（体育祭、文化祭）では、皆さんにお目にかかります。

体育祭では元気な競技姿を応援し、文化祭ではお教室をあづま会のお部屋として、今までの制服、卒業生の製作作品などの展示を予定しています。前制服を着たシェリーメイのぬいぐるみもお目見えします。

在校生と卒業生が、一緒に交流を持つことができます。

皆さんが、明るく健やかな学院生活を送れるように、応援しています。

光塩会設立90周年記念　中村紘子ピアノ演奏会

光塩会は今年、設立90周年を迎えることとなりました。

記念行事として「子どものための音楽教室」ご出身の中村紘子さんのピアノ演奏会を開催します。鑑賞ご希望の方は下記にてお申込みください。

記

日時　平成28年6月12日（日）　午後2時開演（午後1時30分開場）
会場　千代田三番町キャンパス大江スミ記念ローズホール
会費　6,000円　学生4,000円（いずれも記念切手付）
申込　お葉書にてお申し込みください。（会員優先とさせていただきます。）
締切　平成28年5月10日必着
　　ご当選の方には葉書にて詳細をお知らせします。

以上

表

52
〒102-8341
東京都千代田区三番町22
東京家政学院
光塩会　演奏会係

裏

申込者
①氏名 ②卒回
③住所 ④電話番号

同伴者
①人数
②氏名

<お問い合せ先>　光塩会事務局（月曜・火曜・金曜　10時～16時）
TEL / FAX　03-3265-3646

社会のなかで

農業へのこころざし ～教員生活から新たな踏み出し～

東京家政学院大学　現代生活学部　生活デザイン学科　卒業
有田　沙織

私は平成23年に大学を卒業し、現在は川崎市にある私立の中高一貫校で非常勤講師をしております。平成28年4月からは八王子市で農業従事者として勤務が決定しています。

普段は中学生から高校生まで幅広く教鞭をとっていますが教科の根幹として感じることは、家庭科とは「生きる力」だということです。情報が多様化する社会に出た時、与えられた環境から何を選択するか決定するための判断材料の一部であると考えています。それ故、社会で起きていることや実態を知り、それに対して、どのような意見を持つのか、又行動するのか考えさせるために日々勤しんでいます。その様な中、TPPを扱う授業の準備で農業の実態や今置かれている状況について知る機会がありました。私自身、年末年始に行われる春の七草の短期アルバイトを15歳から毎年欠かさず参加していることや祖父が農業を営んでいたこともあり、農業という職種や環境が身近なものとしてありました。

TPPに参加し、海外から安価な食品が大量に入ってくることが予想される中、安心・安全・顔が見える国産野菜を生産することはこれからの未来を考えても価値があるのではないかと思います。また、教員の経験も活かし農業の大切さや国産野菜の安全性など、学校現場を通じて子どもたちに広く伝えていければと思います。農業は食の根源であり、これもまた「生きる力」です。国内農業の未来に希望を持って夢のある仕事をしていきます。

授業の様子

プロフィール

氏名　有田 沙織（ありた さおり）

平成23年3月　東京家政学院大学 現代生活学部 生活デザイン学科 卒業

平成23～24年度　法政大学第二中高等学校 家庭科事務

平成25～27年度　法政大学第二中高等学校 非常勤講師（家庭）

平成28年4月　八王子市の農園で正社員として本採用

研究室紹介52

東京家政学院大学

児童学科　体育研究室
（金子和正研究室）

今回は体育研究室での学生の育て方について紹介していきます。

まずは学生に体験を

この研究室は、特にアウトドアスポーツをキーワードに、現場と研究の溝を埋めることを目的に活動しています。アウトドアスポーツは野外活動種目といわれ、野外教育という範疇で教育の中に根を下ろしつつあります。授業で4泊5日のテント泊のキャンプがあります。1泊はテントを使用しないで野宿をするキャンプですが、毎年30～50名の参加者がいます。スキー、スノーボードについては100名を超える人数です。東京家政学院大学の学生はアウトドアが好きなんだということを確信しています。アウトドアは体験がいのちとも言われています。キャンプに限らずスキー、スノーボード、カヌー、ボルダリング、ハイキング…と多くのアウトドア種目があります。一人でも多くの学生に一つでもアウトドア体験をしてもらうことを薦めています。

これから野宿!
シートを使って緊急用のツエルト作り

段取りが考えられる学生に

野外生活で一番大切なことは日常生活でもそうですが先を読んで行動することです。そのためには次に起こる現象を常に考えながら行動する必要があります。野外での生活は実に多くの知識と技術と知恵が必要です。段取りは、子どもたちが木登りをしている時、しばらく考えて次の脚と手を出す間があります。ボルダリングも当にこれと同じ瞬間があります。次の手をどこに伸ばすのか、とっても重要なことです。次の一手で壁や木は登れなくなってしまいます。段取りは一朝一夕では習得できません。多くの経験知の集積が的確な段取りとして積み上げられます。段取りが上手く組めるということは経験知の集積の結果です。先を見て行動できる学生の育成を目指す研究室です。

初めてのスキー!
お姉さんに支えてもらって少し安心